

KOBE MODERN CULTURE



音 樂

★ 滝えり子エレガントコンサート

12月10日(土) 18時30分

神戸国際会館

4500円(全席自由)

懐しいプロードウェイミュージカルや映画主題曲等

ボニラー20曲を滝えり子が



華麗に歌い上げる。

滝 バック

は北野

タダオとアロージャズオーケストラ19人にストリングスを加えた35名のオーケストラでダイナミックなサウンドが楽しめる。

★第九シンフォニーのタベ

12月24日(土) 19時神戸文化大ホール A3500円 B3000円

朝比奈隆に代って今年から大友直人がタクトを振る。独唱

新録ノ大友直人は岡晴美、竹本節子、田原祥一郎、三室

堯らのベランディング。合唱ではこの日のために練習を重ねた生田文化会館第九をうたう会

など4団体が競演、「第九」シンフォニーの興奮と感激を皆でわから合う。★このチケットをうな様にプレゼント。希望者は葉書に住所、氏名を明記のうえ神戸つ子「第九」係。



おしゃれなドバタ喜劇
一方、おくるアクションといっぱい



「空の詩」時代アートする若々が始まる。豪華メンバーでのイタリア風笑劇。

★「シェルブルールの雨傘」

1月1日(日) ~ 8日(日) マチネ

新神戸オリエンタル劇場

舞はフランス北部の港

町シェルブルール。結婚を

争が終わり数年後に再会した2人だが……ミッショ

・ルグランの名曲にのせて

綴られるオペラティックミ

ュージカル。

★「ダダと構成主義展」20世紀二大芸術運動の出

い」

1月19日(月)まで10時~19時(無

休)つかしんホール一般700円

大高生500円 中小生300円

ツバ各地で開花した前衛的

な二大美術運動にダダ及

ーラーザッキ主義が

一九一〇年以降、ヨーロ

ーパ各地で開花した前衛的

な二大美術運動にダダ及

ーラーザッキ主義が

一九一〇年以降、ヨーロ

長治・淀川映画評論家



ヴィム・ヴェンダースの映画詩 そして映画サスペンス

「都会のアリス」

東京有楽町のシネ・シャンテで「ベルリン・天使の詩」（一九八七）が今月で足かけ八ヶ月のロングランを記録中である。かんたんな映画ではない、前衛的でさえある。それなのにたとえ小劇場といえ八ヶ月えんえん目下まだ上映中のところに庶民をみくびつてならぬ大衆のするどい感覚をさとる。ひとを馬鹿にした急ごしらえの映画はやがてその監督をも大衆は馬鹿にしよう。

ところで「ベルリン・天使の詩」はドイツ映画のヴィム・ヴェンダースの作品でありこの監督のものには「アメリカの友人」（一九七七）「パリ・テキサス」（一九八四）がすでに日本でも封切られている。「アメリカの友人」はヒッチコックを思わせ「パリ・テキサス」は放浪の孤独を男のマスクから感じさせた。

その彼の「都会のアリス」（一九七四）。これは一時間五十二分のモノクロで全篇十六ミリ感覚の素人撮影ムードを思わせながら、この監督の作品個性を鮮やかに掘みとり得るヴェンダース研究には貴重な作である。

ドイツ出版社からアメリカ旅行記をたのまれたドイツの作家が一行も書けないまま困りきった気持ちでニューヨークあたりの海岸、たぶんコニー・アイランドである、その人つ氣のまったくない砂原で海を見ながら何となくボラロイドあたり構わずパチパチと撮っている。

そしてキヤメラから一枚また一枚ひきだすとかすみのかかつたうすぼけた風景、やがてそれが次第にはつきりと見えだしていく。

この作家が、出版社との約束の旅行記の書けぬまま、ドイツへ帰ろうと思い、空港へ。ところがドイツの空港ストで帰れない。もう一泊アメリカに泊ることになる。ところが同じくドイツにかかる予定の母と子（アリス九歳）もこの日をあきらめてホテルで一泊。ところが原稿の書けぬままのドイツの作家フィリップ（リュディガー・フォーグラー）はその母と娘と親しく語り合つたそのあくる日、目を覚ますとアリスの母はアリスをひとり残して、置き手紙に『明日の正午エム・パイアの屋上の見はらし台に来て下さい。そこでアリスを受けとりにまいります。……ついに姿を消してしまつて。仕方なくあきらめてアリスを連れてアムステルダムへ行くことにした。アリスは便所で泣いたが、意外にこの子はしたたかのもので「のどがかわいた」「おなががすいた」と平気でフィリップにそれを買いにやらせる。いろいろと旅から旅とこのアリスを連れたフィリップのあがきがこの映画にボラロイド・キヤメラでとりだした写真のよう、ぼやけて薄暗くハツキリしない。

しかし……次第に鮮やかに人物を見さだめられるときがくるだろう、それを持つより仕方がないという風にも思われる。モテルに泊ったり、ゆきすりの女の家にも泊めてもらったり、フィリップはまったく困りきり、アリスに母の家を聞きだしやつとその家にゆくとその家には母もいなく別のイタリア人が家中から出てきて、"何ですか、知りません"と返事する始末。今度はアリスが知っているという祖母の家の表の写真を小さなハンドバックからとりだしてここへ行くという。ところがドイツのどこかわからない。ドイツの地図を出しAからB、BからCと順番にその土地その都市の名をアリスに聞きだしたがよくわからない。

もう、うんざりした、するとアリスは小さなハンドバックから財布をとり出しお札の一枚を出して、"これあげる"といった。見るとアメリカの十ドル紙幣かと思つたのによく見ると百ドル紙幣なのでびっくり。結局アリスを警察に連れてゆくより仕方ないと決心する。

X

このような映画を"ロー



▲アリス（エイラ・ロットレンダー）

◀フィリップ（リュディガー・フォーゲラー）

ド・ムービー"といつて、バスに乗つたり電車に乗つたり旅客機で空を飛んだりしながら次第にストーリーはその本質を鮮やかにしてゆき、この道中記ともいえるラスト、つまり終着点を、どうしめくるかが興味を持たせるのだが、それよりもホテルに泊つたりモノレールを下から見たりしながら行く当のハツキリしないこのフィリップのアリスつきの旅の"不安定"、"不安感"がこの映画の魅力というか映画のおおげさに申せば映画芸術を盛り上げてゆく。

ラストはアリスとフィリップを乗せた列車がミュンヘ



ALICE IN DEN STÄDTEN——ロード・ムービー＜3部作＞の内、初期の第1作目。東海岸からニューヨーク、アムステルダム、西ドイツを巡る作家と少女の旅が16ミリにより撮影されている。関西では来春公開予定。

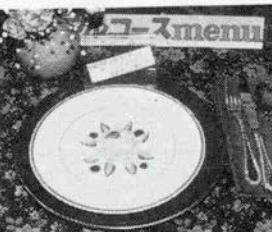
ひとつ・いん



2Fのお座敷で懷石料理を

ーの言葉通り 単品メニューにも季節感あふれる逸品が多い。中でも海老フライは絶品。お土産も色々、2000円から。

★ステーキの泊瀬川に
懐石メニューが登場
本格派ステーキでお馴染
みの泊瀬川が、今年8月から
懐石料理を始めた。ステー
キに季節の味を加えたお
まかせ料理が、華・7000
円、雅・5000円。お手
軽な所では、泊瀬川弁当
3000円、造り定食2000
円、天麸羅定食2000
円がある。「ステーキと
共に、旬の味を存分に味わ
していただくのが長年の夢
でしたから」と話すマスター



これがウワサのケーキのフルコース

■中央区三宮町2-1-9(1-3)
6516 月曜休 11:30 AM
M 5 9 PM
★ I LOVE デザート
WAGRAM に女の子の視
線が集中。フルコースメニュー

★お嬢さんと過ごす

ランチタイムはいかが?

実は甲南女子大学の学生食堂。堂。去年4月にオープンした頃は学生客が多くなったが、今では一般的な固定客も多いという。それもそのはず、老舗神戸精養軒の味だから。繊細な味わいが定評の洋風懷石は、和食器でいいただくフランス料理（22500円と5000円。要予約）。他に日替りディナーや5000円前後でコースも楽しめる。お嬢さん方には人気なのはケーキタイム。お友達とのお喋りもはずみます。

★NEWS

本当に酒を愉し
みたい



お洒落な雰囲気で 気軽な仏料理をどうぞ

コースなんです。甘いだけがお菓子ではない、というだけでコースは匂の野菜をアレンジしたオードブルに始まりクリーミーモチーフとマスカットワイン、メインは例えばフルーツのグラタン風、そしてクッキー、最後は脂肪分をとるブラジルのマテ茶でしめくくり。1ヵ月単位で変わることなく、1ヵ月単位で変わることなく、6種類から3種類のデザートを選べるアラカルトもあります。

駅北) 電 413-01160
10AM~9PM 月曜休
★酒と手料理が
静かに楽しめる

まで、トワイライト・アワーのセットがある。珈琲俱乐部でコーヒー・タイムの後は、嵐庵で大人の時間をどうぞ。

100

100

日は午後5時から8時

お一人様2000円
午後4時から10時まで
のお得なセットだ。平

トメニュー。2ドリンク+1ディッシュで、

まだ嵐嵐に馴染みのない方にお勧めしたいのが、日曜の夜のセツ

ツクコンサー卜を開き、ユニークな動きを見せている。

原珈琲店・珈琲俱楽部
と共にジャズ&クラシ

★ 壱
4月に

NEW
鬼畜で
・ワイ・
め方み
にのた
、たい

S
素敵に
ライト

ボケット ジャーナル



めている。特に子どもには無限の可能性がある。それをドーマン博士は次のように表現する。「どんな子どもでもレオナルド・ダビンチになる可能性を秘めている」。

脳性マヒ、精神薄弱などに、治療法はないと言われてきたが、ドーマン博士は

★地域に根ざして
「ともしびの賞」
長年にわたり地域文化の
向上に尽くした人をたたえ
表彰する「ともしびの賞」



景式が11式、風月16式に兵庫賞受県公館式が11式が

（8：30）文化中ホールで行われる。1959年、日本キリスト教団神戸教会で最初に開催された神戸市民クリスマスは、クリスマスの真の意味を市民に広げることに貢献してきた。

単なる祭りにすぎない日本クリスマスに、音楽や劇を通して、キリストの愛を見つめ直す一日。会場で

は募金をつのり、タンザニアで飢えや医療不足に苦しむ人々の援助活動にあたる

また12月10日（土）には三

（陶芸館巡宮）服部清美（刺しゅう）伊東忠夫（公民館活動）瀧ミズエ（茶道）松葉いとる（民謡伝承）岡本勲（郷土史編纂）西海茂雄（能楽）橋本義雄（音楽）岸根寛次良（木彫）西山龍（染色工芸）柳澤忠（民話保存）赤松衛（但馬文化研究）赤野太刀振り保存会、西端末晴（陶芸）藤間勘右（日本舞踊）菊川兼男（淡路民俗研究）淡岡きみ子（淡路免掘調査）以上敬称略。

★TRUE XMAS

今年も神戸市民クリスマスが12月14日（水）（6：30

★脳障害に光！

驚異の療法

人間は数々の可能性を秘

今年の受賞者は次の17人
で行われた。

タンザニアに送られる。

真のクリスマスを

町でキヤロル宮し元が行わ
れ、こ

の日の
献金も



手や足を動かすことによつて治療するこの画期的な療法は大きな成果を上げており、世界中の障害児を持つ親に希望の光を与えてい

る。日本人も多数治療を受けたが元騎手の福永さんもその一人。また脳障害児の驚異の回復ぶりから健常児ももっと才能を伸ばせる

はず、と幼児の才能開発にも大変力を入れている。この驚異の療法は、次の2冊

の本で詳しく知ることがで

きる。

「子どもの知能は限りなく」、「奇



誕生日ありがとう運動

忘れられていることがら

学校教育で重要な人間形成は、教師と子どもや子どもどうしの人間関係の中でも育てられることも多いのです。

養護学校との交流授業でできた障害児の一人の手を先生がじっと握っています。

手を離すと彼はすでに近くの人をつねるそうです。クラスの話合いで、かわいそうだから手を離したらどうか、ということになり、次の時に手を離すと、すぐ泣きだしました。「ねられた子は泣きだしましたが、次からはバッとは走り廻っていましたが、彼はワッと泣いて床に坐ってしまいました」。

そしてその日から彼はつねることをやめました。養護学校では逃げられる子はいなかったし、先生は痛くともがましまして、しかし彼にはつねることだけが人と関わることでした。この組では逃げまわってふれさせてくれなかった。思いがけぬ反応にあり、どうすれば人に受け容れられるか、気づいたのでしょう。

またダウン症の子どもが遊びに夢中になりもらしてしまいました。クラスの子が励まして雑巾で拭いたのですが、その後彼は母親に初めて排泄を知らせたそうです。子どもの間での教育力です。

ある母親の記録より

誕生日ありがとう運動本部

651神戸市中央区御幸通八一
神戸国際会館1階郵便局の前

電〇七八一三一一二一四

★奇想天外、親子ふれあい
ミュージカル

宰する演劇団「目覚時計」による「奇想天外親子ふれあいミュージカル、胎児に対する親の責任について」



稻垣美穂子さん

が、来年の2月11日建国記念日の午後2時と6時の2回「新神戸オリエンタル劇場」にて行われる予定。

このミュージカルは脚幼児開発協会の井深大理事長の原案、脚本は松木ひろし、涙あり、笑いあり、家族そろって、恋人同志で、だれもが楽しめるミュージカル。

また稻垣さんのバイタリティあふれる演技も大いに楽しみ。

★人気作家夫婦、コーヒ博物館を訪問

去る11月2日、三浦朱門曾野綾子御夫婦がUCCコーヒー博物館を訪問した。

三浦さんが文化庁長官当時に提唱した国民文化祭が今年は兵庫県で開催され、その招きで来られた時に寄らされたもの。諸岡館長の案内で館内を一巡、エンサイクロペディ

ア三浦と呼ばれるほど博学

た。フランスの「キューバ

ボリー」、ドイツの「ニーリシティナー」など10数種

の三浦さんも諸岡さんも、明に熱心に聞きい



三浦さん、曾野さん、諸岡さん

本誌でもお馴染み、芥川賞作家の新井満さんが、その受賞作「尋ね人の時間」

新井満さんのアルバムを

スする。御存じのよう

井さんは、文学、音楽、映像などがあり、今回のアルバムも楽しみ。

他にも、石川啄木の短歌に

曲をつけた素晴らしい作品

テイチクより12月5日、CD、LP、テープ同時発売。

この本は太る体質を改善するこ

とにポイントをおき、疲れ、だる

血など、現代人の肥満の原因を

取り除きながら、健康的に無理なく

や個人の体質を改善してい

る方法を唱言している。漢

方の漢語と、遠赤外線とい

う最新の科学が合体した現代生活に

タリの食事療法。

(リヨン社刊)

1000円

遠赤外でやせる

葛原 黄道

2500円

この本は太る体質を改善するこ

とにポイントをおき、疲れ、だる

血など、現代人の肥満の原因を

取り除きながら、健康的に無理なく

や個人の体質を改善してい

る方法を唱言している。漢

方の漢語と、遠赤外線とい

う最新の科学が合体した現代生活に

タリの食事療法。

(リヨン社刊)

1000円

うつろかげるふ

季村 敏夫

詩人・季村

敏夫の「83年

から'87年まで

の収穫を「う

つる篇」「かがるふ篇」の二分冊に

まとめたもの。

「さながら樹園

が光るよう

に描かれること

が脳のなかで、そのまわりを」ま

で全体を七つに分けているが、諸

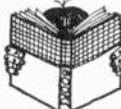
作の底に流れれる詩人の優しさ。

(砂子屋書房刊二冊2500円)

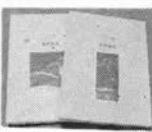
ガイド



写真集・神戸
地方裁判所
神戸弁護士会



神戸弁護士会



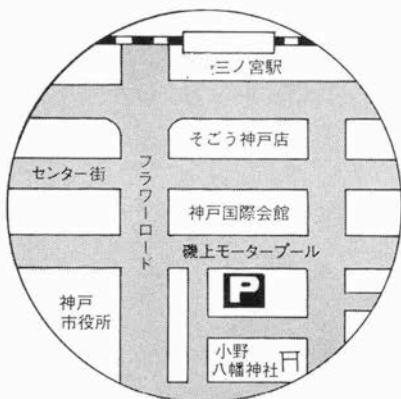
立記念式典が12月11日大
阪の中之島公会堂小ホール
め、都市探検家俱楽部の設
立にて開催される。同俱楽部
は、都市の路上観察学の実
践に基づく「ウォッチング」
、「建築」、都市に関する
勉強会などの活動を行い、



ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モーターポール
(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)



美男 インタビュー

新神戸オリエンタル劇場

「仮名手本忠臣蔵」主演の

近藤正臣さん

テレビで浅野内匠頭 舞台で大星由良之介

十月五日から十二月二十八日までの三ヶ月間ロングラン興行の幕を切った新神戸オリエンタル劇場の「仮名手本忠臣蔵」。なか日を迎えて人気は一向に衰えを見せず、連日の大賑いを見せているが、その魅力を探るべく、主演として或いは座長として大活躍の近藤正臣さんを、本誌副編集長小泉美喜子がインタビュー。テンガロンハットを目深かにかぶり、藍染めの暖簾のかかった自らの楽屋で気さくに迎えて下さった近藤さん。はてさて、どんな話が聞けますことやら…。

★非常に気持ちのいいやつだなあ！

——三ヶ月のロングラン興業も、ちょうど半ばを過ぎましたね。

近藤　ええ、やつと。でも、まだ半分あるんかいなと思うと、うそみたいや。

——だいぶん神戸弁になってきたんとちがいますか？いや、神戸弁というかね、関西弁か神戸弁か大阪弁



か、わけがわかれへん。むちやくちや、ほんまに。"もう疲れた"なんてほつとした言葉はまだ言えませんし

ね。"あと3日"となれば別やけど。

三時間半と言えばねえ。

近藤 出る時間、実質時間はそう長くはないんですねえ、やっぱり結構きついもんですねえ、これは。

見る方もなかなかほつとする場がないくらいですものねえ。

近藤 幕間も短かいねえ。

かなり緊張感があるでしょ、ずっと。

近藤 ふつう一ヶ月の芝居でも、よう「中だるみ」とか言いますよねえ。ところがこの三ヶ月の芝居が中だるみせんのは、やっぱりみんなががんばってるからでしょうねえ。すごいですねえ。

—— 座長としてはいかがですか？ 面倒見がいいと評判ですが。

近藤 いささか疲れて来て、だんだん面倒見が悪くなつて来た(笑)。

—— 蟹川さんとの最初の出会いはいつですか？

近藤 いや、最初はテレビのドラマだったたと思いますね、彼が役者だった頃。でも、"出会つた"とはつきり意識があるのは当然彼の演出の「にごりえ」に出演した時かなあ。まあ、その辺で会つたりしたら、よく話したりしてましたけどねえ。

—— でも、やっぱり蟹川さんのお気に入りの役者というのは、何かあるような気がしますね。軽やかとか、しなやかとかいうか：

近藤 でも、俺なんかはどうなんだろうねえ、別に蟹川さんのお気に入りという風には全然思つてないんだけどもねえ。

—— 一方茶屋の場面がいいですねえ。

近藤 やあ、あれは難しいわ。いやですねえあそこの所は。気をつかいますねえ。たまたま、ようできる日に見はつたんとちやう？ いろいろ変わりますねん、その日

その日で(笑)。

—— 今度の演出はどうでしたか？

近藤 うーん、よく考えてみたら大星由良之助という人間には、さしたるドラマがないわけで、全部その場その場のドラマをしようとした人間たちの隙をぬつて、それをうまく振り分けてゆくという役目だけですからねえ、個人のドラマとしては由良之介には別に何もありませんから、だから何を芯にしてやつたらしいのか、ちょっとわかりにくい所がありましたけど。いわゆる辛抱役というやつじゃないですかねえ。

—— 由良之介に対する感想はいかがですか？

近藤 僕の実際年齢より一つ下なんですねえ、それを思うとその年でもってあれだけの思慮分別を持っていた昔の人達、五十になつたら死ぬんだっていう覚悟ができる人たちの大ぶりと現代人のそれとはえらい違いがあるつていう、今で言えば本当にやつと七十、八十歳ぐらいで到達するであろう境地に、当時ではすでに四五、六の男の中にはつたという、そしてそれは決して由良之介だけじゃなしに、その時代、ごろごろいたんじやないかと；そう思うと、りっぱな男が多かつたんだろうねえ。

—— 一番気に入つている所はどういう所でしよう。

近藤 職業に対する責任感と美意識みたいなもんじやないですかねえ。あの時代の武士、武家というのは絶べてが家につながる、禄を離れたら家がなくなるわけだからもう武士でなくなつちやうわけだけれども、由良之介は精根は武士のまんまで何とかつぱり切つちやつたといふ、そこいらあたりが自分のいた場所、依つて立つ仕事、職業みたいなものに対する責任と美意識みたいなものがくつきり貫通されて、非常に気持ちがいいやつだなあと思いますねえ。

—— 「おかる」をはじめ、様々な女がでて来ますが、どの女がお好きですか？



近藤 歌舞伎なんかを見ると感じないんだけど、この蜷川さん演出の忠臣蔵を見てて気づいたことは、女が出てきて幕切れになる時っていうのは必ず女が泣いてるんですよ。男が最後にいて幕が切れる時っていうのは男は泣いてない。「女が本当にこんなに泣くものだろうか」という疑問が僕にはやたらあるんですね、「うそだらう！あんなに女は泣かないだろう！」っていう気がするんだけどね(笑)。

そういう意味ではこのドラマに出てくる女の人がついているのは例えば「おかる」なんていうのは一人の人間でありますから三つの役を演じてるって言われてる、ま、その通りですよね。しぶといし、情欲にもたけてるし、割とリアルな感じがする女だなっていう気がするけどあとはどうもピンとこないですよねえ。

——確かに「おかる」は魅力ありますよねえ。

近藤 ええ、俺もそうですよ。あのスケベさがまたいいですよ(笑)。

——もうご家族の方は見にいらしたんですか？

近藤 ええ、見てますよ。

——お嬢さんなんかはどうおっしゃりますか？

近藤 でも、うちの子なんかの意見は参考にならないですねえ。稽古に入ってる段階に家の内で僕がボロボロ話す機会がありますし、その辺をすくいとつて下売りが半分あつたりしますからね。

——“神戸発”的蜷川忠臣蔵、この成功がとてもうれしいですね。

近藤 僕もうれしい。本当にうれしい。それはこの劇場を経営する人たちにも、もちろん関わってくる問題で、

出演者だけの熱意の問題じゃないんですね。この劇場をつくり、これから育ようとして今いるスタッフたちがとにかくがんばってますよ。

——中内会長ともお会いになりましたね。どうですか印象は？

近藤 ま、そんなに長くお話しわけじやありませんし、むしろテレビなんかで…ほら、ちょうど南海ホークスの問題とかいろいろありましたでしよう。それを見たりすることの方が多かったのでねえ…、でもやっぱりおもしろい方ですよねえ、神戸の市長さんもおかしいしさあ…(笑)。だから神戸ってね、すごいしやれたね、異国情緒のある、西洋との関わりも長崎みたいな感じやなくて、もっと近代になってからの関わりが激しくて、何て言うか、日本人ばなれした大人たちがいる街だっていう気がイメージとしてあったわけだけど、いやあ、来てみるとやっぱりそつだつたね。やっぱり、ちょっと他の街スジとは違うねえ。

——特にどんな所でそういう感じになりますか？

近藤 ま、これは誰だってみんな言うんだろうけど、やつぱりしゃれてるわ、おしゃれだわここは、本当に。で、おしゃれな割には人間がざっくばらんな所があるね、みんな。

——港町だし、気取ってもしようがないという気があるんですよ。

近藤 いやそれでいて結構気取ってるんだよ。一見ね。話してみるとそんなことはないんだけど、見かけは結構気取った街でさあ、俺は好きだなあ。でも、もっと好きになるためには、この公演の回数がもっと少くねえ、

もう少し神戸の街で僕が泳いでまわれるような時間があ
ればいいんだけど。

僕ねえ、東京を出る時ねえ、「いやあ、神戸はねえ、
いい女がたくさんいるからね、もうねえ、三ヶ月もその
神戸にいるんだぜ。すごいよこれは。」なんて話をして

たの。「もう終る頃には何人の女が俺のまわりに群がっ
て……」なんてね(笑)。でもウソばかり! なか日過ぎて
まだ一人もいねえっていうさあ(笑)、「なんなんだ、こ
りや一体」っていうぐらい。ま、結局、俺があんまり外
へ出でないってことでしょうねえ。

—— 出る時間もないでしよう、このスケジュールで

は。新神戸オリエンタルホテルに泊つてらっしゃるんで
すよねえ、どちら側の部屋ですか?

近藤 海側ですね。須磨の方から淡路島の方まで見え
て、夜なんかなか美しくて……。そんな所に一人で
いる佗しさっていうのがしみじみと身に染みるっていう
仕掛けになつてるね、ここは(笑)。だから、舞台で耐
え、現実で耐えてやつてるからさあ、なんかヘンケラ
ーのようなもんだねえ(笑)。

—— じゃあ、あんまり東京に居るのと変わらないんじ
やないですか?

近藤 いや、東京に居る方がまだうんと楽で、ラフでい
られるよ、俺。

—— 飲みに行くっていう事もないですか?

近藤 ないですね。明日のことを考えると恐くて。

★ぜひ、もう一度、神戸でやりたいね。

—— これが終つたら、どういう仕事のご予定で
いらっしゃるんですか?

近藤 いや、平行して京都のテレビで「大忠臣
藏」の浅野内匠頭をやつてるんですよ(笑)。正月
二日の12時間ドラマなんだけね。だから、あつ
ちで原因をやつて、こっちで結果をやつて……とい
う。何か冴えないねえ、原因も結果も一緒にやつ
て笑)。

来年なんかはどうなんでしょうか?

近藤 来年はねえ、七月に一ヶ月、大阪の中座で四谷怪
談をやるんですよ。

近藤 そう。伊右衛門ですか?

近藤 関西づいてますね。

近藤 だから、これもねえ、「大阪発」にしたいの。

お岩は誰ですか?

近藤 それがなかなか決められないんだ。いやだつてい
う人が多くてね。

—— 演出は?

近藤 青井洋治。売れっ子の演出家でねえ。「ラ・カーニ
ジュー・オ・フォール」の時もそうだつたんだけど、今度
の中座も彼の演出で……

近藤 これはおもしろそうですねえ、「悪」が利いてて。
—— そうですねえ。でも、またここでやりたいです。
近藤 よ。ここで「ラ・カージュ……」なんかどうかねえ、すご
くいいと思うんだけど。

—— そうですね。エキゾチックというか、ハイカラな
ものも神戸でやつて欲しいですね。

近藤 本当にもう一ぺん「ラ・カージュ・オ・フォー
ル」をもつてやつて来たいと思つてますよ。

—— そうですか、楽しみですね……本日はお忙しい中、本
当にありがとうございました。

(十一月十七日、新神戸オリエンタル劇場裏屋にて)



～♪ ファイブ・ツアードに 夜は更けて…

小関三平
〈神戸女学院大学教授〉

ミナト・コーゲは、ステキである。私なんか、東北ネクラの末裔であるだけに、海と陽光の魅惑から逃れがた。故あって、「阪神間」の職場からはズラることにしたが、住いを変えようとは思わない。海の潮風は、あちこちの外国から、さまざまなメロディとリズムを、もたらしてくれた。「国際都市」のお陰である。楽しく飲むためには、歌がなければならない。というわけで、本誌編集部の企画に便乗して、今回は外来音楽のライヴ・ハウスのハシゴを試みることになった。

まずは、「スペイン料理とワインの店」と銘打つ「ブルー・リボン」である。それは、阪急・阪神J.Rの三宮駅から降りてすぐ、生田新道と北野坂が交わる東・北の角、「メインスター・ビル」の五階に在った。

実は、マスター・熱田守男氏は、神戸のフラメンコ・ギタリストの大先達なのである。オリジナル曲も出版されているし、「熱田ギター・アカデミー」の主宰者でもある。活躍中のお弟子さんも多い。このお店は、もともと、加納町のあたりにあった。ただし昭和三十二年開店というから、オドロキである。私





■スペイン料理とワインの店
"ブルーリボン"

神戸市中央区北長狭通1丁目20-1
メインスタービル5F
☎392-5213

はその頃のコーベーのことは知らないが、フラメンコ・ギターの生演奏が聴ける店なんて、なかつたはずである。なんだかアメリカ風の店名は、おそらく、心ならずもの苦肉の策だったのだろう。スペイン語なんかにしてもウケなかつたにちがいない。なにしろ三十一年も前のことである。

そのあとしばらくして、マスターは、本場のエスペニアへと、武者修業に旅立つた。もつとも、すでに大師匠の三好保彦さんにシゴカれていたから、道場破りみたいな気配もあったのかもしれない。

今でも、ときどき、スペインに遊びに行くらしい。但し、ギターは携えない。逆に頼まれて、ギターを買って帰つたりするのだとか……。

私も南欧ファンなので、懐しい芸能の話題を楽しめて嬉しかった。インテリアは、もちろん、白い壁のエスペニア風である。が、玄関を入つたすぐ右側の壁には、南米はペルーかボリビアのとおぼしき芦笛が、飾られていたりする。これまた、私には、二十年前の中南米放浪を想起させてくれた。

残念ながら、フォークやロックしか知らない若いお客様の手前、熱田さんもフラメンコ演奏を遠慮してられるらしいが、それは彼の内気ゆえで、もつとヤングを啓蒙してもらわないとコマる。

「クライ曲が好き」と言う熱田さんの「ソレアレス(孤獨)」を聴きながら味わうスペイン・ワインは、また格別なのである。

さて、お次は、シャンソニエ『エ・トワ』である。トア・ロードを南に下つて、三宮センター街西入口、『スカイトピア・ビル』の三階にある。「ブチ・シャンソン『音楽の家』」というのが、キャッチ・フレーズである。もつとも、シャンソンは女性名詞だから、「ブティエウ」でなければならぬが、それでは舌を噛んでしまう。もちろん、「エ・トワ」とは、「そして、あんた」である。

る。あなたは、おおらかなネアカ女史・堀郁子さんの微笑みに迎えられる。堀さんは、パリのオランピア劇場でのジルベール・ベロー・ショーを楽しんで帰られたばかりで、興奮冷めやらぬ態であった。

やがて、彼女は、ページュのピアノに坐って、弾き語りを始める。なにしろ、もと、メツォ・ソプラノのクラシック歌手だから、声量は（体格と同じく）堂々たるものである。鍵盤の叩き方も、かなり勇壮（？）を感じられた。

が、そこはさすが、曲が変ると、繊細なピアニシモに変り、余韻を残して弾き終える。なかなかニクい。人柄がまた、ステキである。今日の自分があるのは、ひとえに、恩師や、亡くなった親友・マネージャーの戸田朝恵さんのお陰（？）と、しみじみ話される。明朗かつ謙



■プチシャンソン・音楽の家
"ET TOI (エ・トワ)"
神戸市中央区三宮町 3-8-12
スカイトーワビル 3F
電話332-1755

虚なのである。キング・レコードから、「君を愛す」と題したLPも出し、関西の歌手三〇余名と万余のファンをつなぐべき「シャンソン協会」（会費二千円）のボス（？）なのにもかかわらず、である。
酔いがまわると、ついアツカマしくなって、ママの伴奏で歌わせて！などと口走りかねないので、オジさん客四人がドヤドヤと入ってきたのを機に、「じや、また」となった。

加納町へと向かう。不動坂を上つてすぐ右に、お目当ての店がある。「ブルー・グラスとカントリー」のメイカ—「ミュージック・イン・ホンキイ・トンク」である。



ここには、宇崎竜童や大和田漠なんぞがフライリと現われて、興に乗ればジャム・セッションを楽しんだりもするらしい。若ものが聞いたら、エエーッ?と、声を上げるだろう。

もちろん、ここでもまた、マスター・野沢隆一郎氏

■BLUEGRASS & COUNTRY “HONKY TONK”

神戸市中央区加納町2丁目2-2

☎241-2161



が、練達のギタリストである。「六〇年代」世代のOBだから、キャリアは二〇年を越えるが、柔軟な童顔の人である。

ところが、なぜか当夜は、お客さんは一人の常連だけであった。カントリイは神戸の目玉のハズなのに?と、いささか残念な思いがした。

いっさい、神戸っ子はナニとんじや!と、内心ギフン(?)に駆られたのだが、禍福ハ糾ヘル縄ノ如シ——、お客様が少ないお陰で、私は、神戸大学・リツチ・ランナー・カンパニーの諸君の、特別サービスに接したのである。

クアルテットを成すのは、ギター&ヴォーカル・佐藤文芳クン(行政法)、フラット・マンドリン・岡本央クン(電気工学)、ベース・江島真クン(刑法)、バンジョウ・国分二郎クン(行政法)の面々である。

「アイム・ゴーイン・バック・トゥ・オールド・ケンタッキイ」、「ジャンバラヤ」ほか一〇曲近くも演奏してくれた。こういうのを聴いていると、もう私は、じっとしてられない。思わずコーエンのあまり、全身をゆすり、おもしりをせんばかりであった。

わが甥も娘も神戸大学のお世話になつてることでもあるし、初々しいヤング諸君の達者な演奏に、大いなる声援を送りたい。

マスターによると、彼らはどこに出しても恥ずかしくないレベルだという。だが、それは、野沢氏が培つた人脈あればこそで、関西大学その他の諸君も、入れ替り立ち替り、プレイしに来る。七〇年前後にくらべると、この種のジャンルは不当に忘れられたがちだが、それでも、しなやかに・したたかに、水脈が流れ続けることを、祈つておこう。

わが学院の榎本美枝クンも、一月一七日に登場すると言いたが、残念ながらその夜、私はこうやつて原稿を書いてるワケで、聴けなかつた。美枝チャンよ、「ホンキ・トンク」の星となれエ! (も、えこひいき、ミエ

さて、R&Bやソウルはどこで聴けるか?

「コーディ・スポット」—『チャーリーズ』である。

中山手カトリック教会の北向いだから、わかりやすい。

チャーリーこと徐光星氏は、脂のノツた三八歳、堂々たる押し出しの大人で、パパはU・S・A、ママは中国のハーフとか。カトリック校・マリスト学園の出身である。

ジミー・ヘンドリックスやクリームを愛し憧れてこの道に入つたと言うが、レパートリイーはきわめて広い。八六キロの貫禄は充分、実にいい顔をしている。サビのあ

る低音、高音の張り、いずれもセクシイである。ギターの腕前は、野沢氏が絶讚してやまぬほどなのだ。赤いチエックのシャツの上に黒いセーター、そして紺のジーパンと、当夜のさりげないファッショニも、キマッていた。

ベース・ギターを弾くは、通称カツチャン、ボサボサ髪にヒゲの、シブいミドルである。カウンターの中には、も少し若い、通称ビンくんが入つてた。いずれも「チャーリーズ・エンジエル」ならぬ、徐監督率いる草野球チーム『ウッドハウス』のメンバーなのだ。

だが、この店の売り物は、ブルースでありソウルなのだから、「コーディな」(ゆつたりと、くつろいだ)オトナの雰囲気である。

ところで、テープ・ボックスを眺め渡していくたら、「エル・ペレード」つまり、スペイン語で「父」と題したのがあった。ワケを聞くと、令息(一八歳)がチャーリー氏のために録音してくれたのだとか。彼の名前は、「アルドリック」という。いささか変っている。由来をたずねると、パパが、尊敬するミュージシャンのイニシヤルをつないだのだという。パパはエラい!

外に出ると、もう十二時を過ぎていて。醉眼モードとして、ジャズとラテンは断念することにした。

寒風吹きすさぶなか、三宮、トアロード、北野町…

小関先生、大変お疲れさまでした。



■COZY SPOT

“Charlie's”

神戸市中央区山本通2丁目2-1
北星ハイツ1F 電222-6909